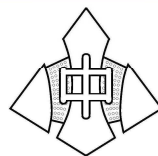


手をたずさえて

“KOHARADA WAY” 自分に打ちかて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年8月21日（金）発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

放送による始業式に切り替えての2学期のスタート！

今年度初めて全校生が体育館に一堂に会して始業式を行う予定でしたが、20日は危険な暑さ予報が出され、朝から気温も上昇したことから、熱中症対策として急遽、放送による式に切り替えました。

1学期終業式と同様に校長室からの放送による式となりました。校長式辞の後には「夏休みの反省と2学期の抱負」についての生徒発表がありました。1年香西さんは、学校をもっと好きになるという目標を掲げ、学習、部活動、文化祭等の学校行事に積極的に取り組み、楽しく笑顔あふれる学校生活を送りたいと述べました。現状をよくとらえ、より良い方向に改善しようとする意欲が感じられました。2年瀧田さんは、夏休みに行った手伝いから普段家事を行っているお母さんへの感謝の気持ちを新たにしたこと、2学期の具体的な目標を3つあげ、3年生からのバトンをしっかり引き継ぎ、学校の要として責任ある行動をしていきたいと述べました。3年肥田野さんは、特別で短かったこの夏休みを、受験生という立場から振り返るとともに、残り少なくなった中学校生活でのこれからの行事等を充実させ、そのひとつひとつが心に残る思い出となるようにしていきたいと決意を述べました。3名ともに自分の置かれている立場や状況を踏まえた具体性のあるすばらしい発表でした。生徒発表の後には生徒指導主事の浅野先生より、2学期の生活の重点として、交通事故防止や時間厳守、SNSの取扱い、感染症対策等について注意喚起の話がありました。

最後に、スクール・サポート・スタッフとして本校に勤務することになった小野さんから全校生に向けての挨拶がありました。

今年度初めて全校生が体育館に一堂に会し、全校生で歌う「校歌」を楽しみにしていましたが、今回は仕方ありません。次回を楽しみにしています。

いよいよ2学期のスタートです。感染症対策については気を緩めず徹底していくとともに、それぞれが「成長できる学期」にしていきたいと思います。

“スクール・サポート・スタッフ”の小野さんです！

新型コロナウイルスの感染症対策として、福島県教育委員会が県内の全小中学校に配置することになった「スクール・サポート・スタッフ（SSS）」本校には、8月17日より小野彩子（あやこ）さんが配置されました。校舎内外の消毒作業や学校事務等、教員の業務支援や補助を行ってくれます。小野さんは、昔から子どもと接することが好きで、子どもにかかわる仕事をしたいと考えていたそうです。3月末まで勤務となります。これから、みんなとかかわる場面も出てくると思います。よろしくお願いします。



トイレ清掃業務始まりました！

郡山市の施策として学校トイレ清掃業務委託事業が8月21日から始まりました。月・水・金の週3日（本校は午後）2名の業者の方がトイレ清掃及びトイレ内の消毒作業を行います。トイレの洋式化工事との兼ね合いはありますが、作業は授業中に実施します。業者の方に会ったら、しっかり挨拶をしましょう。



“己の欲せざる所、人に施すことなかれ”

～第2学期始業式
校長式辞より～

今から2500年ほど前、中国に「孔子」という人物がいました。儒教を開いたこの孔子の言葉をまとめた『論語』は、今でも“生きた道徳”として多くの人々に親しまれています。

ある日、弟子の一人が、孔子にこう尋ねました。

「先生、人間関係の中で一番大切なことは何でしょうか？人間が一生涯これだけは努力する。これだけは守っていかなければならないことを、一言で言ったら、どういう言葉になるでしょうか？」

孔子は、こう答えました。

「一言で言えば、それは“思いやり”だな」と。

さらに弟子はこう尋ねました。

「先生、思いやりと言われても、よく分かりません。“思いやり”というのは、具体的にはどうすることでしょうか？」

そこで、孔子が言った言葉が、これです。

「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」

これは、「自分がしてほしくないことは、人にしてはいけない」、言い換えれば、「自分が嫌なことは、人にはしない」という意味です。

2500年も前のこの言葉が、現代でも生きています。生きているばかりか、ますます大切になっていると思います。

この孔子の言葉を踏まえて、次の言葉を見てください。

元中学校体育教師で、スキーでの大けがを克服し、『命の授業』と題する講演活動を行っている腰塚優人（こしづか ゆうと）さんの『5つの誓い』という作品です。

口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。

耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

目は、人のよいところを見るために使おう。

手足は、人を助けるために使おう。

心は、人の痛みがわかるために使おう。

孔子

紀元前551
～紀元前479

中国で史上最高の聖人と呼ばれている。古代中国の思想家で礼と仁、孝と忠を軸とした政治を理想とし諸国をめぐり、その後は教育と著述に専念した。彼の思想と言行をまとめた『論語』は、日本にも伝わり、日本の政治にも大きな影響を与えた。

「過ぎたるは猶お及ばざるがごとし」「義を見て為ざるは、勇なきなり」など数多くの名言を残しており、現在でも、『論語』を熱心に教えている学校も多い。



このような行為がひとつでも多くできれば、“思いやり”に繋がるのではないのでしょうか。

1学期終業式に『KOHARADA WAY』（小原田中らしさ）という話をしました。2学期のスタートの今、確認しておきたいことがあります。この『KOHARADA WAY』の基本にあるのは、「相手に伝わる挨拶がしっかりできる」「授業を真剣に受ける」「手を抜かずに清掃に取り組む」「善悪の判断をしっかりとつけ正しい行動ができる」、そして「他を思いやることができる」など、規律ある安定した行動と生活です。これらの基本ができれば、小原田中は自他共に誇れる学校となり、それが『KOHARADA WAY』（小原田中らしさ）に繋がっていくものと考えます。

1年生は中学生らしさを本物にすること、2年生は学校の要としての働きを果たすこと、3年生は進路実現に向けて準備体制をしっかりと整えていくこと、それぞれが「成長する学期」となるよう努力するとともに、正義を愛し、思いやりにあふれた善意ある言動のとれる生徒として、『KOHARADA WAY』をつくり上げていきましょう。



保護者の皆様へ

2学期もよろしくお願いします！

生徒達の元気な姿と再会できたこと嬉しく思います。現時点で事故等の報告は受けておりません。保護者の皆様のご協力により事故なく2学期を迎えることができました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大は止みません。特に家庭内感染が増加傾向にあることから、家族ぐるみでの感染症対策の徹底をお願いいたします。慣れから疎かになってしまっている面もあるかもしれません。毎朝の検温（健康観察）、マスクの着用、手洗い・うがい、換気、消毒等初心にかえっての対応を、校内はもちろんですが、ご家庭においてもお願いいたします。